

これまでに梶原診療所病棟で肺炎治療を受けた患者様へ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

今回 AMED（研究長寿・障害総合研究事業 長寿科学研究開発事業）

「呼吸不全に対する在宅緩和医療の指針に関する研究」における分担研究において、「認知症の肺炎の緩和ケア」に関する臨床研究を行なっております。この研究は、認知症高齢者の肺炎時の状態・症状・苦痛および肺炎の治療や緩和ケアの状況について明らかにし、認知症高齢者の肺炎時の緩和ケアの在り方について考察することを目的としています。そのため、過去に肺炎で入院された患者さんのカルテから治療経過に関するデータを使用させていただきます。

今回の研究では個々の患者さんからの同意取得はせず、代わりに対象となる患者さんへ向けて情報を公開することといたします。以下に研究の概要を示します。

○本研究は、東京ふれあい医療生協倫理委員会での承認を受けて行われます。

- ・研究期間：倫理委員会承認日～2022年3月31日
- ・研究責任者：平原 佐斗司

○対象となる方

2015年4月～2020年3月に梶原診療所病棟で肺炎治療を行なった認知症の方

○使用させていただく情報は以下のとおりです。

入院日数、要介護度、併存症・合併症、肺炎の既往歴、酸素飽和度、抗菌薬治療、認知症の日常生活自立度、高齢障害者の日常生活自立度、認知症の原疾患、認知症の重症度、肺炎の陰影分布、急性期（3日間）の症状と苦痛・所見、酸素投与、転機、呼吸困難や疼痛などの苦痛に対してのオピオイドやベンゾジアゼピン系薬剤等の投与等

○本研究の意義

今後重要となる認知症の方の苦痛を和らげるケア（緩和ケア）を推進するための基礎的な研究となります。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた方への謝礼等もありません。

○患者さんの情報は個人を特定できる情報とは切り離れた上、研究班で使用します。

また調査研究の成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、個人を特定できる情報が公開されることはありません。

○調査研究の結果、何らかの知的財産が生じる可能性もありますが、その権利は研究者、及びAMEDに帰属します。

○この研究に対して利益相反はありません。

○研究計画書及び関連資料は、ご希望に応じて閲覧（個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限る）することができます。

◆本研究の対象となる方で、今回のデータ使用に同意されない場合やご質問については、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

東京ふれあい医療生協 研修・研究センター 平原 佐斗司
〒114-0004 東京都北区堀船3-29-9 電話：03-3911-5171